

# 美術科 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 第一美術室

3年4組(男子17名, 女子17名, 計34名)

授業者: 教諭 高橋訓子

1 題材名 鑑賞 江戸絵画

2 教材観

本題材は、1時間扱いの「B鑑賞」の題材であり、学習指導要領の目標(「自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見解を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める」)に則して、日本の文化遺産である江戸絵画に関心を持ち、理解を深め、自分の価値意識を持って味わわせるねらいがある。

3 生徒の実態

日本美術の鑑賞については、昨年度、長澤蘆雪(ながさわろせつ)の「虎図」と、「鳥獣戯画図」の鉛筆による模写を経験している。また、3学年になってからは、篆刻の学習の際に、落款の役割という観点で、教科書や資料集に掲載された日本画について軽く触れている。しかし日本美術はなかなか縁遠く、親しみを感じるとまでは言えないのが実情である。

4 本時について

(1) 本時の学習 江戸絵画

(2) 本時のねらい

①江戸絵画の代表的な作品を通して、日本美術への興味関心を持つ。

【美術への関心・意欲・態度】

②作品を鑑賞しながら級友の考えを知り、自分の見方を広げる。【鑑賞の能力】

(3) わかる生徒の姿

江戸絵画から、日本美術への興味関心を持ち、鑑賞を通して級友の考えを知り、自分の見方を広げる。

(4) 展開構想 ○→主な学習内容 ①, ②→評価場面

学びのステップ	学習内容	指導上の留意点	かかわり合いの形態
導入	○ピクチャーカードをよく見て、「読み札」に合う作品を選ぶ。	教師が「読み札」を読み、生徒がカードを選ぶ。	4人組
学習課題 作品に興味関心を持って見てみよう。			
第1ステップ	○ピクチャーカード数枚をグループに分け、4人グループ内でその根拠を交流し合う。	意見交流しやすいように4人グループのリーダーを事前指導する。 ①②観察	4人組
第2ステップ	○なぜそのように分けたのか、その視点を4人グループの代表が発表する。 ○発表に対する感想を、他グループが発表する。	②発表、観察	全体 4人組
ラストステップ	○本時のまとめを書く。 ○本時わかったことと感想を発表する。	①②学習シート ①②発表、発表を聞く	個人